

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	鹿島市中心身障害児通園施設「すこやか教室」	公表日	2026年 3月 31日
------	-----------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		①広さは十分にあり活動に合ったスペースを確保。②ブレイルーム・個別訓練室・感覚統合スペース完備。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			①配置数は適切であるが業務をスムーズにこなしていくには足りないと思う②随時職員募集を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		①室内は広くバリアフリーで設備は整っている。②室内は文字やイラスト・写真提示し構造化。③活動スペースが明確（遊び・勉強・運動）。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		①日々の掃除に加え週末は業者のトイレ清掃も実施。②物品の破損の有無をチェック③適宜消毒・換気実施・業者の定期清掃あり	①ショッピングセンター4Fなので屋外運動場がありません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		①許可を得て（これも勉強）一人で静かに過ごしたい時は自由に使える部屋を開放しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		①毎日の朝礼・終礼にて利用者様一人一人に関する話し合いを実施。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		①保護者様の意向を職員で話し合い改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	①意見などを発言しやすいフリートークの時間を設けています。（毎週水曜）	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		①外部評価は必要だと考えているが至っていない状況であり課題。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3	①職員数の問題で今年度は研修受講の機会を確保するのは困難だった	①職員数の問題で今年度は研修受講の機会を確保するのは困難でした。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		①保護者様からのニーズを踏まえ職員で話し合い計画作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		①職員全員で会議を行い検討し共通理解をして内容を踏まえ作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		①職員全員で個別支援計画に基づき計画に沿って支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		①新しい教材を取り入れ子ども達が飽きない様にまた注目出来る内容の選定を工夫しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		①新しい教材を取り入れ子ども達が飽きない様にまた注目出来る内容の選定を工夫しています。	①間に手足を動かさし気分を替え前を見て着席し取り組めるような内容を更に工夫します。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		①個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		①打ち合わせが十分できない時もありますがリーダーが率先して指示を出してくれます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		①毎日終礼にて振り返りを行い情報共有し次の活動に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		①基本当日に記録を書くことを決めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		①個々に合わせ適切なモニタリングの見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		①児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		①保健センターでの3歳児精密検査に要請があれば出席しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	①関係機関との移行支援会議に出席し情報共有と相互理解を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		①子ども園、事業所、小学校、保護者様と就学前の移行支援会議に参加し情報共有と相互理解を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	①本教室のセラピスト（PT・OT・OT）に個別指導や集団指導を受けているので各分野（ことばや運動機能）の問題点などに関する助言等を受け指導に活かしています。	①今後必要に応じ他の事業所の専門家の助言も受けたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		①近くの事業所と交流会を計画し考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		①個別指導後の話の時に家庭やこども園での様子なども聞き取り状況把握に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		①自宅で保護者様が負担にならないような継続可能な支援法を提案しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		①契約時に児発管が説明をしています。また疑問に思う事は後から質問を受け付けています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		①ご家族の意向は確認出来ています。保護者様の代弁でこどもさんの気持ちは捉えています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		①丁寧に説明をして納得が得られるようにしています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		①親子通園施設なので日頃の子どもの様子や困り感を聞く機会は毎回心がけています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		①母子分離の時間に保護者のみでお茶を飲みながらリフレッシュタイムを設けています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		①相談があった場合は迅速に対応していますがすぐに返答できない場合は期限を決めてお答えするようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		①毎月おたよりを1回発行し行事や訓練日をお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		①秘密情報の保持に関する取り扱いに関する誓約書を年度初めに職員全員書いています。②利用者様個人ファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		①スケジュールや視覚支援カード、手話等で理解を促しています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		①感染症対策で積極的な交流は控えています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		①各マニュアルを元に想定し訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		①親子で災害時の避難経路の確認・実施を定期的に行っています。②防災頭巾を実際にかぶってAEDの場所確認等も親子で行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		①フェイスシート記入で確認し再度聞き取りでも確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		①意思の指示書はないが保護者様への聞き取り、アレルギー時の対応は確認している。	①当教室は給食・おやつ提供はなく親子通園で弁当持参である。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			①今後安全計画についてご家族様への周知に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		①その日のうちに職員全員で内容確認をし再発防止に努めている。	①毎日の終礼で振り返りを行い活動内容で危険な事がなかったか内容を再確認している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		①県の（虐待防止に関する）出前講座を保護者様代表と職員全員で受講している。	①子どもたちに対する呼び方は基本〇〇さんと敬称で呼んでいる。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		①契約の時に丁寧に説明させて頂き同意を得ている。		